



藤枝  
地区

# 社明だより

犯罪や非行の背景には、望まない孤独や生きづらさが潜んでいることが少なくありません。罪を犯した人が過去の過ちから立ち直ろうと決意したとき、その思いに寄り添い、温かく包み込む社会を築いていくことが大切です。

“社会を明るくする運動”は、すべての国民が犯罪や非行の防止と立ち直りの支援について理解を深め、それぞれの立場で力を合わせて明るい地域社会を築くための全国的な運動です。昭和二十六年に始まり、本年度で七十六回目を迎えました。

社明運動藤枝地区

推進委員会委員長

藤枝市長 北村 正平



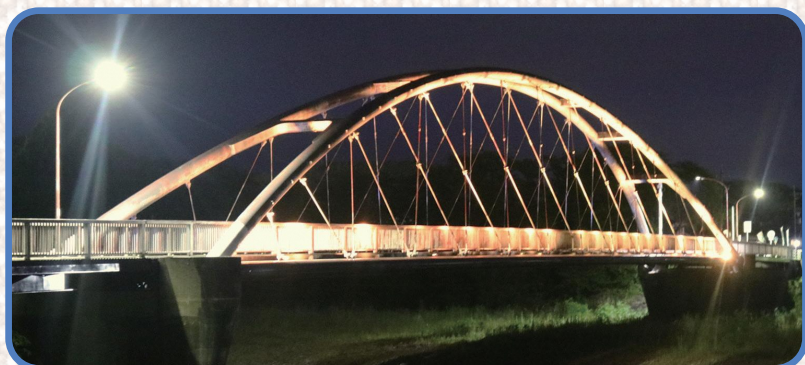
本市におきましても、保護司会、協力雇用主会、更生保護女性会、自治会をはじめとする関係団体の皆様と連携し、社会復帰を目指す人々を地域で支える「更生保護活動」に取り組んでおります。

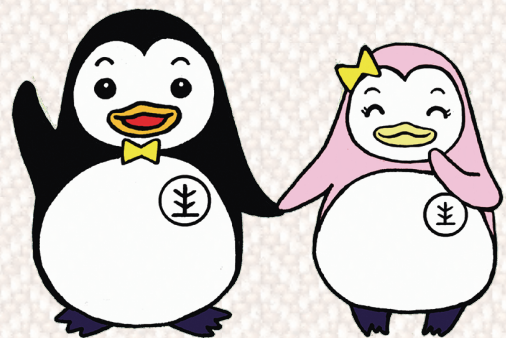
また、街頭での啓発活動に加え、中学二年生を対象とした標語や、小中学生の作文募集などの活動を通じて、次代を担う子どもたちにも本運動への理解を深めていただく機会を設けております。

犯罪や非行のない、安全で安心な明るい地域社会を実現するために、市民の皆様と手を携え、地域が一体となった取り組みが極めて重要です。引き続き、本運動に対する皆様の深いご理解と温かいご協力をいただきますようお願い申し上げます。

## ふれあい大橋ライトアップ

毎年7月は、“社会を明るくする運動”の強調月間です。本運動の一層の周知と啓発のため、瀬戸川に架かる「ふれあい大橋」を更生保護のシンボルカラーである黄色(橙色)にライトアップする取り組みを実施し、7月10日には啓発活動を行いました。





# 立ち直りを 支える家庭と地域のチカラ

第76回を迎えた“社会を明るくする運動”にあわせて、市内の中学校2年生を対象に標語を募集したところ、市内12校から1,204点の作品が寄せられました。

審査の結果、最優秀賞1点、優秀賞3点、佳作8点が選ばれ、7月25日に開催された表彰式では、推進委員会の委員長である北村市長から入賞者に表彰状と記念品が授与されました。

なお、最優秀賞の藤枝中学校堀井敬吾さんの作品は、市内に設置されている社明運動の非行防止広告塔に掲示し、広く市民に非行防止を呼び掛けていきます。

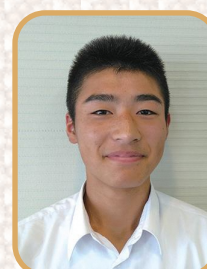


▲ 標語入賞者のみなさん

| 最優秀賞    |                |
|---------|----------------|
| 寄り添って   | つむ 笑顔の輪        |
| 藤枝中学校   | 堀井 敬吾          |
| 優秀賞     |                |
| 感じよう    | 地域の優しさ あたたかさ   |
| 西益津中学校  | 上野 天平          |
| 大丈夫     | あなたの居場所は ここにある |
| 葉梨中学校   | 尾崎 彩香          |
| やさしさを   | みんなで広げる 藤枝市    |
| 藤枝明誠中学校 | 前田 悠向          |
| 佳作      |                |
| 今生きる    | 一人一人が たからもの    |
| 青島中学校   | 村瀬 暖季          |
| やめようよ   | 自分の未来を 壊すこと    |
| 高洲中学校   | 芳村 凰夏          |
| あいさつは   | 心をつなぐ 見えぬ糸     |
| 大洲中学校   | 三原 彩音          |
| ありがとう   | さし出すその手 あたたかい  |
| 瀬戸谷中学校  | 山口 恭奈          |
| SNS     | うかつな一言 命取り     |
| 広幡中学校   | 中村 圭希          |
| あいさつは   | 無料で渡せる プレゼント   |
| 青島北中学校  | 北條 二葉          |
| 気づいてよ   | 味方はいるよ すぐそこに   |
| 岡部中学校   | 渡辺 空斗          |
| 君はどう?   | 今やり直せば まだ希望あり  |
| 藤枝順心中学校 | 金澤 咲月          |

## “社会を明るくする運動” 標語入賞者 (敬称略)

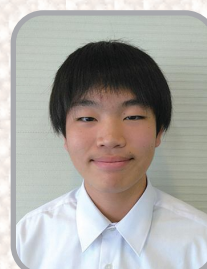
### 最優秀賞



藤枝中学校  
堀井 敬吾さん

相手に寄りそうことは、安心や笑顔につながる大切なことだと思います。一人ひとりの思いやりが、紡がれることで安心して暮らせる社会になると 생각합니다。この機会に、相手に寄りそうことの大切さを改めて感じました。私たちにできることは、学校や地域、身近で起きている問題を他人事とせず、困っている人には声をかけていくことだと考えます。これからも、小さな思いやりを大切に、笑顔の輪を広げていきたいです。

### 優秀賞



西益津中学校  
上野 天平さん

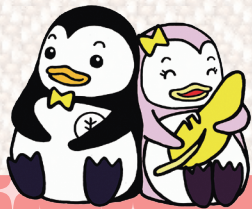
「明るい社会」とは、特別な誰かが作るものではなく、私たち一人ひとりの小さな温かさの積み重ねだと思っています。まずは私自身にできることとして、自分から笑顔で挨拶し明るい社会に近づけたらと思います。

### 優秀賞



葉梨中学校  
尾崎 彩香さん

再度、罪を犯してしまうということは、その人を苦しめているものがあつたり、不安に思うことがあるのだと考えています。一人で抱え込むのではなく、不安や苦しみを打ち明けられる人や安心していられる居場所を見つけれられる人が増えたらいいなと思っています。この標語が、罪を犯してしまう前のブレーキになることを願っています。



## “社会を明るくする運動”とは？

“社会を明るくする運動”は、すべての国民が、犯罪や非行の防止と犯罪や非行をした人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、新たな被害者も加害者も生まれない安全で明るい地域社会を築くための全国的な運動です。

### 5/30 消費者フェア



### 7/3 街頭啓発活動



### 7/3 街頭啓発活動出発式

